

三浦学苑 90周年記念式典 生徒会活動報告書

(生徒代表の言葉 生徒会長 望月彩弥愛)

日 時：2019年11月5日(火) 9:30～

活動場所：三浦学苑高等学校 メインアリーナ

報告者：生徒会 会長 望月彩弥愛



◆ 式典内容

私は生徒会長として、「生徒代表の言葉」を担当致しました。2か月ほど前から、準備をして当日を迎えました。この日の朝は早めにメインアリーナにて、立ち位置、動き、言葉の継ぎ方などの最終確認をしました。特に式典においては、お辞儀の位置やタイミングのとり方に気を使わなければなりません。

これらのことを所作さとか、立ち居振る舞いといいます。一つ一つの動作が、礼をつくす行為となり、心をこめることで式典の空気を作ると伺っています。

休憩をはさみ、記念コンサートとなり、歌(3月までおられた相田先生の声楽)・ピアノ演奏・三浦学苑吹奏楽部の演奏の披露がありました。

◆ 生徒会としての活動内容

- ①. 生徒代表の言葉・・・望月
- ②. 式典の映像記録・・・長田



◆ まとめと感想

まず初めに私が会長の年に90周年を迎えられたことをとてもありがたく光栄に思います。このような式典で生徒を代表し、祝辞を述べさせていただくという貴重な体験をさせてもらいました。このことは、私の大切な思い出となります。いつもの集会での「会長の言葉」に比べると、緊張の度合いが異なりました。しかし、この90周年の式典の場でお話できたことは、私の誇りです。

「生徒代表の言葉」を話し終えた後、先生方からお褒めの言葉をいただき、とてもやりがいを感じました。

記念コンサートは、相田先生の声楽、ピアノ演奏、吹奏楽部の演奏のそれぞれが、とても豪華に感じられて感動しました。

生徒の代表の言葉でもお話しましたが、今後も三浦学苑の進化は止まることはありません。100周年のときどうなっているかわかりませんが、私は全力で本校を応援し続けていきたいと思っています。

記：生徒会3年 望月彩弥愛

